

NTTドコモ パーソナルデータ憲章 — イノベーション創出に向けた行動原則 —

2021年9月30日

株式会社NTTドコモ
マーケティングプラットフォーム推進部
法務部

本日は話すこと

1. パーソナルデータ憲章の制定経緯
2. パーソナルデータ憲章に基づく運用について

1 パーソナルデータ憲章の制定経緯

パーソナルデータ憲章制定に向けての背景

2017年4月、中期戦略2020「beyond宣言」
⇒dポイントクラブを軸とした事業戦略へ舵をきり
お客さまや社会に新しい価値を提供していくには
「データの有効活用」は重要な要素



ドコモのマーケティング戦略

すべての「dポイントクラブ」会員」に更なる価値を提供



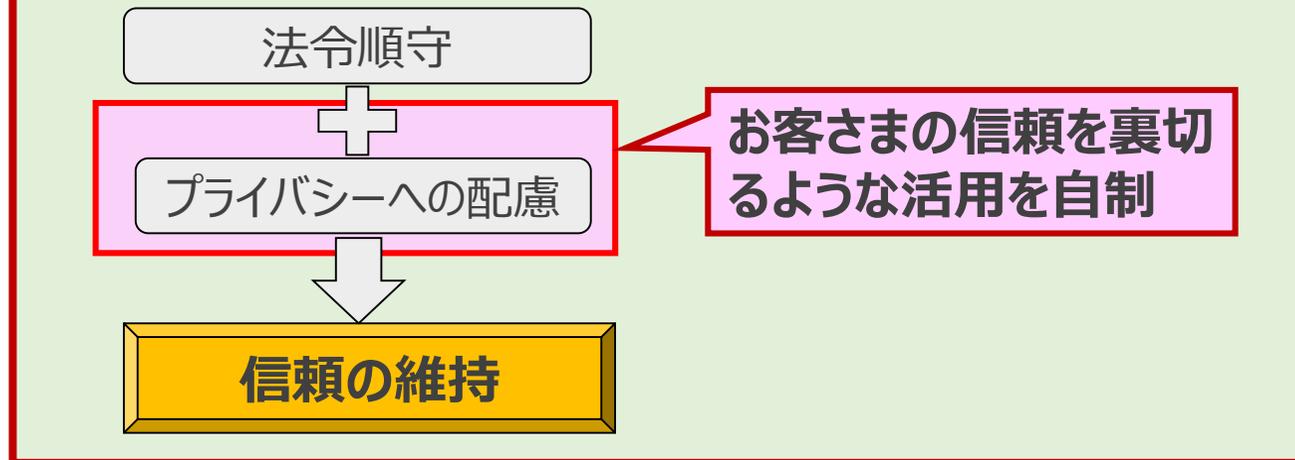
パーソナルデータ憲章制定に向けての課題

お客さまの信頼にこたえ続けるため、
「個人のプライバシーへの配慮」も重要な使命

データ利活用が本格化する前に

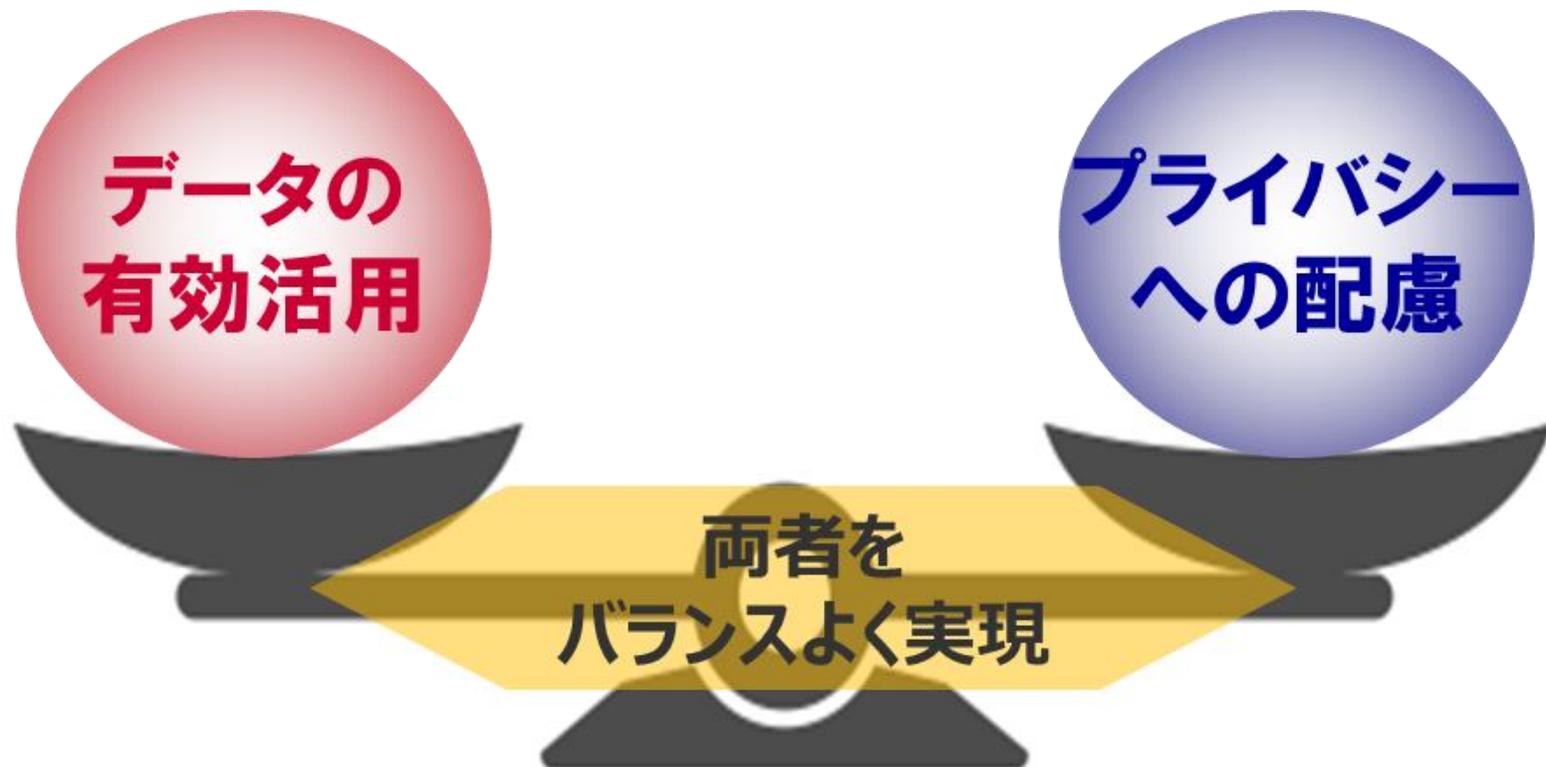
- ① **プライバシーへの適切な配慮を「社内の共通認識」とするとともに、**
- ② **その実効性を担保する「社内運用の仕組み」が必要ではないか**

〈めざす姿：社会と調和のとれた“データ利活用”の実現〉



パーソナルデータ憲章の基本理念

パーソナルデータ憲章を制定するにあたっては「データの有効活用」と「プライバシーへの配慮」とをバランスよく実現することを基本理念とした。



パーソナルデータ憲章の制定

NTTドコモ パーソナルデータ憲章 - イノベーション創出に向けた行動原則 -

<ポイント>

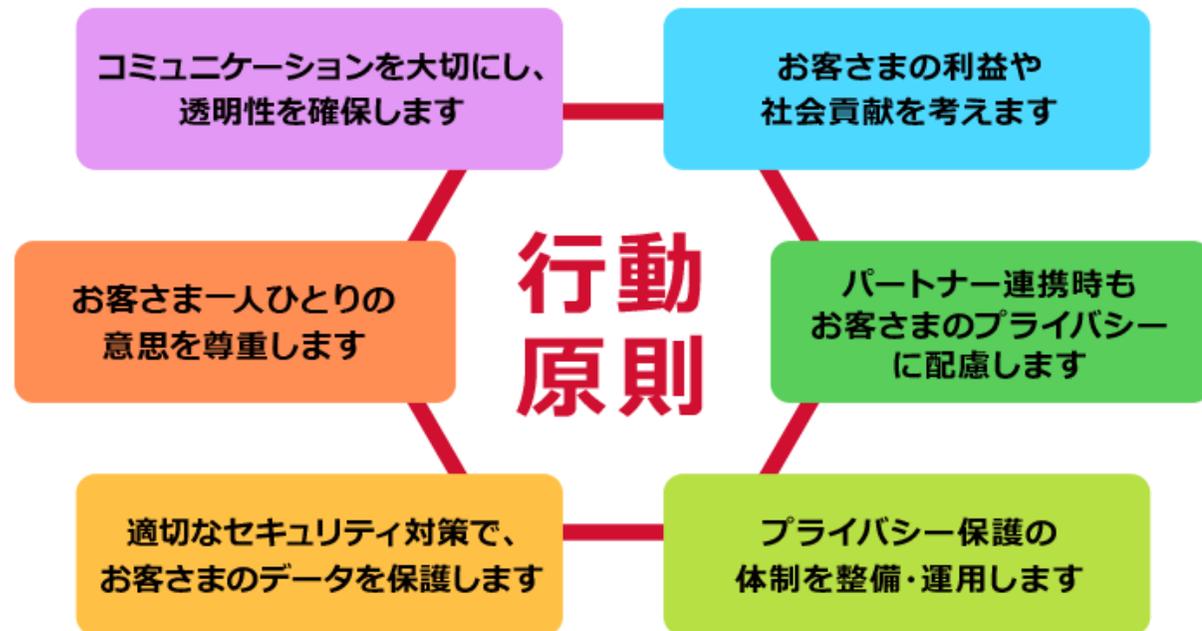
「パーソナルデータ憲章」
=プライバシーの保護のイメージ

「イノベーション創出」
=データ活用のイメージ

プライバシー保護とデータ活用の双方のバランスが重要

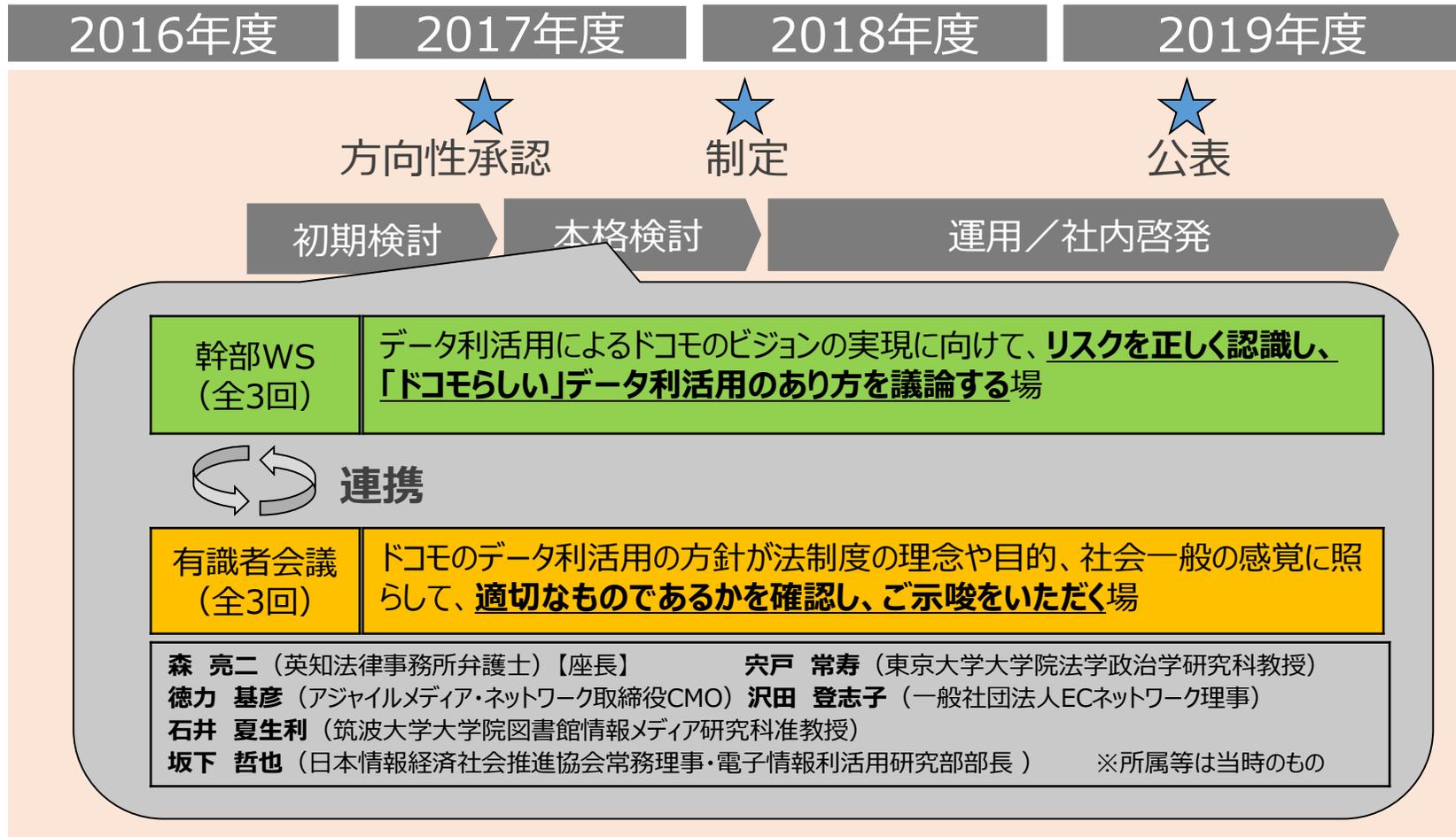
<憲章の構成>

- ◆ 前文
- ◆ パーソナルデータとは
- ◆ 行動原則



パーソナルデータ憲章制定・公表プロセス

「ドコモらしいデータ利活用」はどうあるべきかを
経営幹部で議論し、トップメッセージとして発信



2

パーソナルデータ憲章に基づく
運用について

社内PIA制度の導入①

—プライバシー保護の体制整備—

法令順守”+a”の取り組みとして、 プライバシー影響をA~D評価



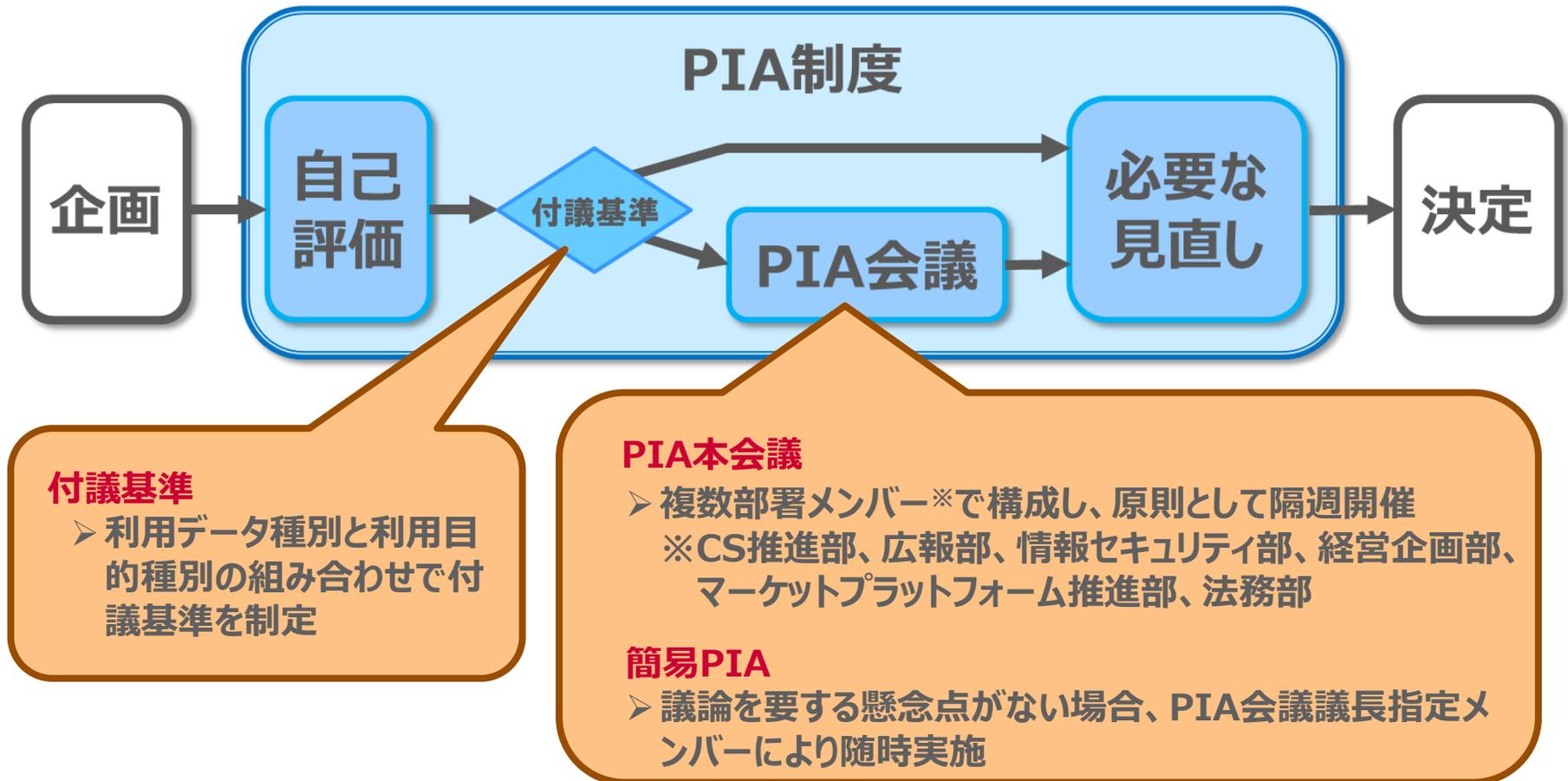
法的面およびセキュリティ面は別評価手当済み

※PIA・・・Privacy Impact Assessment

社内PIA制度の導入②

—プライバシー保護の体制整備—

案件毎にプライバシー・バイ・デザインの思想から サービス企画、施策の立案からプライバシー影響評価



プライバシー保護への全社員の意識向上

■ PIA会議の継続的改善

類型化

- 案件分類化
新規・既存、評価済、包括
- 会議分類
本会議と簡易会議

■ 社員への意識定着化

可視化

- マニュアル（憲章解説、PIA）
- PIAのデータベース構築
- 社内システム、施策立案時の
ルールに適用

運用状況の定期チェック

- 幹部との社内会議での報告
パーソナルデータ憲章運用委員会

啓発

- 定期的eラーニングの必須
（アンケート込み）
- ポスターや社内システムでの
PC画面メッセージ

あなたと世界を変えていく。

NTT
docomo